



学校関係。
出来事のご報告。

教育委員会から

Education

Notice
2017.11

シアトル研修を終えて…

by 曾於市青少年海外研修派遣事業



曾於高等学校3年 中尾 李桜

シアトル研修に参加して、家族への感謝の気持ちやコミュニケーションをとる大切さなどを学びました。多くの人と出会い、たくさん話す機会もあったので良い経験ができました。これから活かしていきたいです。

尚志館高等学校1年 佐多 茉生莉
たった一カ月、けれど一カ月。アメリカでの毎日は、挑戦と失敗の繰り返しでした。その中で自分の語学力や対応力、協調性など多くの力を上げられたと共に、自分の将来につながる良い経験となった一カ月だったと思います。



曾於高等学校2年 牧之瀬 寛乃

今回のシアトル研修を通して積極性や協調性を学ぶことができました。色々な場所にも行けて充実した一カ月でした。このような経験ができたのも親や周りの方々のおかげなので、感謝の気持ちを忘れず日々頑張りたいです。

曾於高等学校2年 池田 佳奈
とても充実した一カ月間でした。滞在中、通っていた学校では世界中の子供たちと接する機会があり、友達もたくさんできました。また、英語を通じて様々な価値観と文化を学ぶことができました。



鹿屋女子高等学校2年 村下 望

わたしは今回のシアトル研修で、一生の思い出になる体験ができました。一カ月間の生活で、コミュニケーション力やリスニング力などスキルアップできたと思います。シアトル研修で学び感じたことをこれからの自分に活かし、頑張りたいです。

尚志館高等学校1年 丸岡 優衣
あつという間に過ぎたアメリカでの生活。最初は慣れずに色々悩んだけれど、いつも笑顔のホストファミリーに助けられて充実した日々を過ごせました。これから英語力を向上させて、将来シアトルに住みたいです。

曾於高等学校2年 森 あいり
わたしの夢であったシアトル研修に参加させていただきありがとうございます。この一カ月間、日本では体験できないことをたくさん学ぶことができました。この経験を活かし、自分の将来の夢に向かって頑張りたいと思います。



尚志館高等学校1年 森山 彩夏

わたしは今までの夏休みで一番心に残る夏休みでした。気付いたことがあります。自分がやりたいと思ったことは、何でも挑戦するということです。この経験を活かして、高校生活で積極的に取り組んでいきたいです。



曾於市青少年海外研修派遣事業とは…

海外でのホームステイや現地の学校における学びを通して、国際的視野を広めるとともに心身共にたくましく思いやりのある青少年の育成を目的とした事業。市内在住の高校生をアメリカのシアトルに派遣するもので、8回目となる今回は、8名の高校生が参加。



曾於市教育委員会では、本年度総勢 28 名の支援員を各学校に配置し、小・中学校で子どもたちの支援に当たっています。今回は、この支援員の業務について紹介します。

学力向上支援員

- ★複式学級の場合、授業中、担任の先生は、1つの教室の中で2つの別々の学年の子どもたちを指導します。担任の先生が片方の学年の子どもたちを指導している間、もう片方の子どもたちは自分たちで学習していかななくてはなりません。その時、学力向上支援員が子どもたちの学習支援を行います。
- ★一クラスが30～40人の多人数学級では、担任の先生一人では、すべての子どもになかなか目が行き届かないこともあります。学力向上支援員は、教室の中を巡りながら学習が分からずに困っている子どもに個別に支援をしたり、担任の先生と協力・分担して授業補助を行ったりします。
- ★授業中だけではなく、休み時間や放課後に子どもたちに個別に支援を行うこともあります。



配置している学校（人数）

末吉小（2名）
 櫛小・深川小・柳迫小・岩川小・
 大隅北小・月野小・財部小（各1名）、
 恒吉小・大隅南小（兼務で1名）
 財部北小・財部南小（兼務で1名）
 計 12 校に総勢 11 名

特別支援教育支援員

- ★学級の中には、勉強に対する集中力が長続きしない子、文字の読み書きや計算などのある特定のことが苦手な子、友達とのコミュニケーションが苦手な子たちもいます。特別支援教育支援員は、このような特別な配慮を必要としている子どもたちに対して、学習に集中して一生懸命取り組めるように支援していきます。その子に合った声掛けや関わりをすることで、みんなと一緒に仲良く学習に取り組むことができるようになります。
- ★車いすを使っている子や、装具をつけている子もいます。特別支援教育支援員は、その子たちの学校内の移動の介助や安全確保も行います。



配置している学校（人数）

末吉小・岩川小・財部小・末吉中・
 大隅中（各2名）、諏訪小・深川小・
 笠木小・月野小・財部中（各1名）、
 櫛小・高岡小（兼務で1名）、柳迫小・
 財部北小（兼務で1名）
 計 14 校に総勢 17 名

支援員の学校以外での業務…「夏休みの宿題 めんどうみます」

夏休み期間中に6日間、大隅、末吉、財部の各公民館等に希望する子どもたちが集まり、支援員に教わりながら夏休みの宿題をするというものです。家で一人で宿題をしようとしても、ゲームなどに心引かれ、なかなか集中できない、はかどらないという子どもたちも、公民館に行って友達と一緒に勉強をすることで集中することができ、また分からないことは支援員にたずねられるということで大変好評です。

地域が育む『かごしまの教育』県民週間 平成 29 年 11 月 1 日（水）～7 日（火）

この期間は保護者、地域の方はもちろん、どなたでも学校での子どもたちの勉強や運動の様子を参観することができます。ぜひ学校へ足を運んでいただき、鹿児島県の教育について考える機会としてください。